

平家物語 語りと二つの弦と絃で聴く

＜俊寛＞ 祇園精舎 鹿谷 赦文 足摺 有王 僧都死去

金子あいの臨場感あふれる語り芝居を鮮やかに彩るコントラバスと薩摩琵琶の即興演奏の妙味!気鋭のジャズベーシスト須川崇志のソロ、岩佐鶴丈の薩摩琵琶語り「俊寛」も交え、今、俊寛の物語が立ち現れる!

【あらすじ】

【鹿谷】平清盛が権勢を振るう、嘉応三年(1171)、高倉天皇の元服後に、清盛の娘徳子が入内する。その頃、大将の職が空き、徳大寺実定・西光・藤原成親らが望むが、清盛の嫡男重盛が左大将、宗盛が右大将になる。成親は恨み、鹿谷山荘に法皇も迎え、俊寛・西光・康頼らと平氏討滅の密議をこらす。<計略は清盛に漏れ、西光・成親は処刑。俊寛・康頼・成親の息子成経が鬼界が島へ流される。>【赦文】治承二年(1178)、中宮徳子が懐妊するも苦痛に悩まされる。怨霊をなだめるために非常の赦が行われ、清盛は俊寛を除いて、成経・康頼を赦すことにし、使者が鬼界が島へ着く。【足摺】居合わせた俊寛が赦文を開いたが、自分の名前はない。半狂乱の俊寛を一人残し、船は去ってしまう。【有王】幼少より俊寛に仕えた有王は鬼界が島に渡り、俊寛に巡り会う。その痩せ衰えた惨めな姿は現世の罪の報いと思われた。【僧都死去】俊寛は、ただ一人残った娘の手紙を読み、妻と息子の死を知ると、自らも死を選ぶ。有王は骨を拾って帰京し、高野で出家して諸国修行の旅に出る。俊寛の娘も出家する。



金子 あい 語り芝居・構成・演出
東京藝術大学大学院デザイン科修了。2004年より『平家物語』を語り続ける。2020年より須川崇志と『平家物語〜語りと弦で聴く』シリーズを上演。『琵琶法師耳無調』『千一夜物語』などを発表。『子午線の祀り』『雁作・桜の森の満開の下』『六道御前』オペラ『連隊の娘』等に出演。能を喜多流栗谷明生に、義太夫を豊竹芳穂太夫に、新内浄瑠璃を鶴賀流第十一代家元鶴賀若狭掾(人間国宝)に師事。



須川 崇志 音楽・コントラバス
11歳からチェロ、18歳からコントラバスを始める。即興演奏を軸に多岐にわたり活動。これまでに日野皓正クインテットや渡辺貞夫カルテットなどに参加。現在は、自身が主宰するBanksia Trioをはじめ、峰厚介カルテット、森山威男カルテットなど多くのグループに参加。2018年にデビューアルバム『Outgrowing』を発表。Banksia Trioでは4枚のアルバムをリリース。最新作は同トリオの作品『LIVE』。



岩佐 鶴丈 鶴田流琵琶
鶴田流琵琶を鶴田錦史に師事。楽琵琶を宮内庁式部職楽部の山田清彦に師事。1997年「日本琵琶楽コンクール」1位入賞、文部大臣奨励賞、日本放送協会会長賞受賞。古典演奏の他、映画、芝居、語り、現代曲など幅広い演奏活動を展開。2012年、ラジオフランス「オコラ」でCD録音。金子あい&須川崇志「平家物語〜語りと弦で聴く」には2025年に続き二度目の参加となる。

★事前鑑賞講座★ 公演をもっと楽しむために

本公演の上演章段の見どころや平家物語の基礎知識を楽しく解説します。鑑賞前にぜひお気軽にご参加ください! (参加無料)

①5月8日(金) 14:00~15:00 (受付13:40)

会場: 阿波おどりホール(座・高円寺地下2階)

②5月12日(火) 20:00~21:00 オンライン

※お申込み後にZOOMのURLをお知らせします。

講師: 金子あい



事前講座
申込フォーム

art unit ai+

2026年5月26日(火)~28日(木)

5/26(火)	27(水)	28(木)
	14:00	14:00
19:00★	19:00★	

★終演後、出演者によるアフタートークあり
受付は開演45分前。開場は開演30分前。上演時間約90分予定。

【料金】 全席指定 |チケット発売|3月6日(金) 10:00

一般:5,000円

ペア・グループ:4,600円(2名以上1名につき)

学生(30歳以下):1,000円(要当日身分証、枚数限定)

*未就学児の入場はご遠慮いただいております。
*車椅子スペースをご利用の方は事前にご予約ください。

【チケット取扱】

◎予約フォーム▶



◎art unit ai+ ▶auaplus@gmail.com

090-1232-1363 (平日11:00~18:00)

※電話が繋がらない場合は留守番電話に、お名前・ご連絡先・ご用件を入れてください。折り返しご連絡を差し上げます。

【お問合せ】 art unit ai+
auaplus@gmail.com

俊寛公演サイト



090-1232-1363 (平日11:00~18:00)

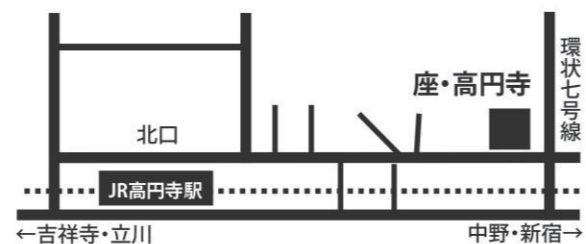
【古典を未来にプロジェクト】

毎公演、若い方々に古典に触れていただく機会を作っています。みなさまのご支援を心よりお待ちしております。

【ゆうちょ銀行】

〈郵便局の払込〉00100-7-695152 加入者名:art unit ai+
〈他銀行からの振込〉店名:〇一九(ゼロイチキョウ)(019)
当座預金 0695152 口座名:art unit ai+
メールもしくは振込用紙の備考欄に「古典を未来に支援」・お名前・住所・電話番号を必ずお書きください。

【照明】和田東史子 | 音響|荒木まや | 舞台監督|穂苺竹洋
【演出助手】伊奈山明子 |ヘアメイク|荻野しずこ
【衣裳】鍵田由美子 | 古典監修|野澤千佳子
【デザイン】art unit ai+ | 宣伝写真|bozzo
【制作助手】さかまきゆう | OMAMORI|トクマスヒロミ
【協力】渋谷/Shibusora (株)藤原プロデュース かなえのかい
【後援】杉並区 | 企画・制作・主催|art unit ai+



座・高円寺2

杉並区高円寺北2-1-2 地下2階 TEL:03-3223-7500
JR中央線「高円寺」駅北口を出て徒歩5分

art unit ai+ The Tale of the Heike 2026



平家物語

語りと二つの弦と絃で聴く

祇園精舎 鹿谷 赦文 足摺 有王 僧都死去

昨年、大反響を呼んだ魂ほとばしるセッションを再び!金子あいの語りと須川崇志のコントラバス、そして薩摩琵琶の岩佐鶴丈氏をゲストに、深く、ダイナミックに『平家物語』をお届けします。能・文楽・歌舞伎で名作を生み出した「俊寛」の物語を原文でじっくり味わう...他では絶対に聴くことのできない3人ならではの共演をお聴き逃しなく!

2026年5月26日(火)~28日(木) 座・高円寺2